

令和5年度 学校関係者評価報告書

□基本方針

企業委員、卒業生委員、地域住民委員により、自己評価結果の項目について評価を行う。次年度に向けた重点目標を設定し、全職員にて共通の認識をもち、副校長を中心に改善策を検討し、年度ごと改善に向け取り組んでいく。

□実施について

令和元年度の学校評価委員会を開催し、直近の自己評価報告をもとに、学校関係者による評価を以下の通り実施した。

実施日 令和5年8月7日（月）
参加者 企業委員2名
卒業生委員1名
地域住民委員1名
学内委員1名 渡邊基矢（進行、まとめ）

□評価について

項目	評価、評価に係る提言・改善等
(1)教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none">・変える必要は特にない・特に問題はない
(2)学校運営	<ul style="list-style-type: none">・適切に運営されていると感じる・学校としての新しい取り組みを積極的にWebサイトで公開するとよい。・特に問題は感じない。
(3)教育活動	<ul style="list-style-type: none">・学生の就職活動において、今後は、検定取得状況による採用試験の足切りも想定されるので、検定に対する対策をさらに充実されるとよい。・ITの人材不足が懸念されており、プログラミング言語の授業をもっと増やしてはどうか。・時間的な問題、制約もあると思われるが、卒業生が授業を対応できるとよいのではないか。
(4)学修成果	<ul style="list-style-type: none">・ローコード開発の仕事が多くなり、ITでの就業のハードルが下がっており、プログラミング未履修のコースの学生も、IT分野での活躍ができるよう促すとよいのではないか。・特に問題はない。
(5)学生支援	<ul style="list-style-type: none">・支援の一環として、相談士の配置をしてはどうか。・自宅通学での学生が多いので、項目にある支援はそこまでなくてもよいのではないか。

(6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・より最先端の開発、作品制作ができるように、さらにハイエンドPCを充実してはどうか。 ・希望しない学生に、海外研修等させる必要はないと感じる。希望者がおおようならば対応すればよい。
(7) 学生の受け入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・学生のCG作品等を活用して、SNSを使った発信をしてはどうか。学生も作品発表の場となり、生徒募集もできることになれば、メリットは大きいと感じる。
(8) 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・特に問題はない。 ・適切な学生募集が、よい財務状況につながる。積極的に学生募集を行ってほしい。 ・学園全体での適切な運営ができるとよい。
(9) 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね対応できている。 ・特に問題はない。
(10) 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・地元自治会などへの、地域社会に対する貢献があるとよい。 ・概ね適切である。
(11) 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・問題は感じない。 ・学業をしっかりと行ったうえで、やる気のある学生は取り組むとよい。 ・現状、無理をして留学生を受け入れるべきではない。

□総評

- ・学校として問題は感じない。
- ・さらに魅力ある充実した学校を目指してほしい。
- ・今後も長く持続できる学校運営を行ってほしい。